



Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange ソフトウェア バージョン 5.1

ユーザ ガイド

2015 年 12 月

はじめに

組織で Cisco TMSXE をインストールしている場合は、Outlook を使用して他の会議を予約するときと同じ方法でテレプレゼンス会議を予約できます。また、テレプレゼンスと連携するように WebEx サイトが設定されている場合は、Outlook から WebEx をテレプレゼンス会議に追加することもできます。

この簡易ガイドでは、これらの機能を活用する方法について説明します。

予約のしくみ

Outlook から予約すると、テレプレゼンス管理のバックエンド (Cisco TMS) によって、デフォルト設定の追加、必要なインフラストラクチャリソースの予約、テレプレゼンス会議のルーティングが自動的に行われます。WebEx を予約する場合は、WebEx のバックエンドでデフォルト設定に応じてこのセットアップが行われます。

これらの設定を変更したり、他の参加者に会議への接続を許可したりするには、次のいずれかにアクセスする必要があります。

- Cisco TelePresence フォーム: 独立した [Cisco TelePresence] タブとして会議の招待状に表示されるカスタム Outlook フォーム。
[「Cisco TelePresence フォームの使用」\(3 ページ\)](#)を参照してください。
WebEx の設定はフォームに含まれていません。
- WebEx Productivity Tools with TelePresence: 会議の招待状に特殊なパネルを追加する Outlook プラグイン。
[「WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用した予約」\(5 ページ\)](#)を参照してください。

WebEx Scheduling Mailbox

管理者によって設定されている場合、特別な招待先 (WebEx Scheduling Mailbox) を含めることで、Outlook から会議の招待状に WebEx を直接追加することもできます。

メールボックスは、単に「WebEx」と呼ばれたり、別の名称で呼ばれたりすることがあります。不明な場合は管理者にお問い合わせください。

Outlook での予約

予約のベスト プラクティス

過去から将来に会議を移動することはできないことに注意してください。同様に、すでに進行中の会議の開始時刻を変更することもできません。

また、カレンダーの一貫性を維持し、信頼できる予約操作を実現するため、以下を実践することをお勧めします。

- 一連の会議の開催を更新する場合は、それぞれの更新情報を保留にせずに、ただちに更新情報を送信する。
プロンプトが表示された場合は、必ずすべての参加者に更新情報を送信して、カレンダーが常に同期されるようにしてください。
- [Productivity Tools] パネルの [Resources] フィールドまたは [Add Telepresence Rooms] ボタンを使用して、参加者リストを変更する。
Outlook スケジュール アシスタントのチェックボックスを使用した参加者の追加または削除は、Cisco TMSXE で確実に検出できません。
- 一連の会議の繰り返しパターンを変更する場合、またはその例外を作成するときは、作成した場所が Outlook の場合に Outlook を使用して予約を更新する。
- 会議室メールボックスから直接予約するのではなく、自身のメールボックスから会議の招待状を送信する。
- 会議に関係するすべての会議室の [Show As] ステータスを [Busy] のままにする。
予約に対して会議室メールボックスを [Free] に設定すると、その会議室は会議から削除されますが、スケジュール済みの他の会議室とリソースは削除されません。
空き/使用中ステータスを使用して会議室を削除するよりも、予約自体を変更することを強く推奨します。

WebEx ユーザ専用:

- WebEx を含む進行中の会議を編集しないでください。
- WebEx-only 会議をスケジュールするには、生産性ツールまたは別の WebEx 予約ツールを使用します。
テレプレゼンス参加者がいない会議を WebEx Scheduling Mailbox を使用して予約すると、テレプレゼンス リソースが占有されるため、お勧めしません。
- 一連の会議で 1 回のみテレプレゼンスや WebEx を使用する場合は、その 1 回の開催をキャンセルし、必要なリソースを含む新しい 1 つの会議で置き換えます。
- Cisco TMSXE を使用して代理承認で会議室を予約する場合は、Outlook で WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用できません。

Outlook での予約

詳細設定を使用せずに会議を予約するには、次の手順を実行します。

1. Outlook の会議の招待状と同様に、招待状を開いて会議の主題、開始時刻および終了時刻を入力します。

Cisco TelePresence フォームの使用

2. 会議にテレプレゼンスを含めるには、招待状に以下を含める必要があります。
 - テレプレゼンス会議室/ビデオ対応の 2 部屋以上の会議室、または会議室とコールイン/コールアウト参加者の組み合わせ。
招待状に会議室 1 部屋のみが含まれている場合、会議室は予約されますが、テレプレゼンス リソースは予約されません。
 - [Cisco TelePresence フォームを使用する\(3 ページ\)](#) 場合は、コールイン参加者に加えて少なくとも 1 部屋の会議室を予約してください。
予約にコールイン参加者のみが含まれている場合、テレプレゼンス リソースは予約されません。
3. 会議に WebEx を含める場合は、招待先として WebEx Scheduling Mailbox を追加します。
4. 会議の招待状を送信します。
予約に複数のテレプレゼンス会議室が含まれる場合は、Cisco TMS から会議の設定完了の確認と参加者の接続方法に関する情報が届きます。
5. この情報を招待者に転送するか、会議の元の招待状に貼り付けて更新情報を送信し、情報を提供します。

長さが 3 分以内の会議を予約すると、Cisco TMSXE では処理されないことに注意してください。

Outlook で作成された予約の Cisco TMS による更新

Outlook から作成された予約をユーザまたは管理者が Cisco TMS を使用して変更すると、Cisco TMSXE によってリソース予約が最新の状態に保たれます。

ただし Exchange のセキュリティ制限のため、Cisco TMSXE では、ユーザ自身のカレンダーの元の予約を Cisco TMS で行われた変更に応じて更新することはできません。

Cisco TMS を使用して、最初に Outlook で予約が行われた一連の会議の繰り返しパターンを変更したり、例外を作成したりすることはお勧めしません。

予約に問題がある場合

要求されたすべてのリソースが会議に使用できない場合、Cisco TMS からの応答でユーザによる対処が必要なことを通知される可能性があります。通常の対処法は次のとおりです。

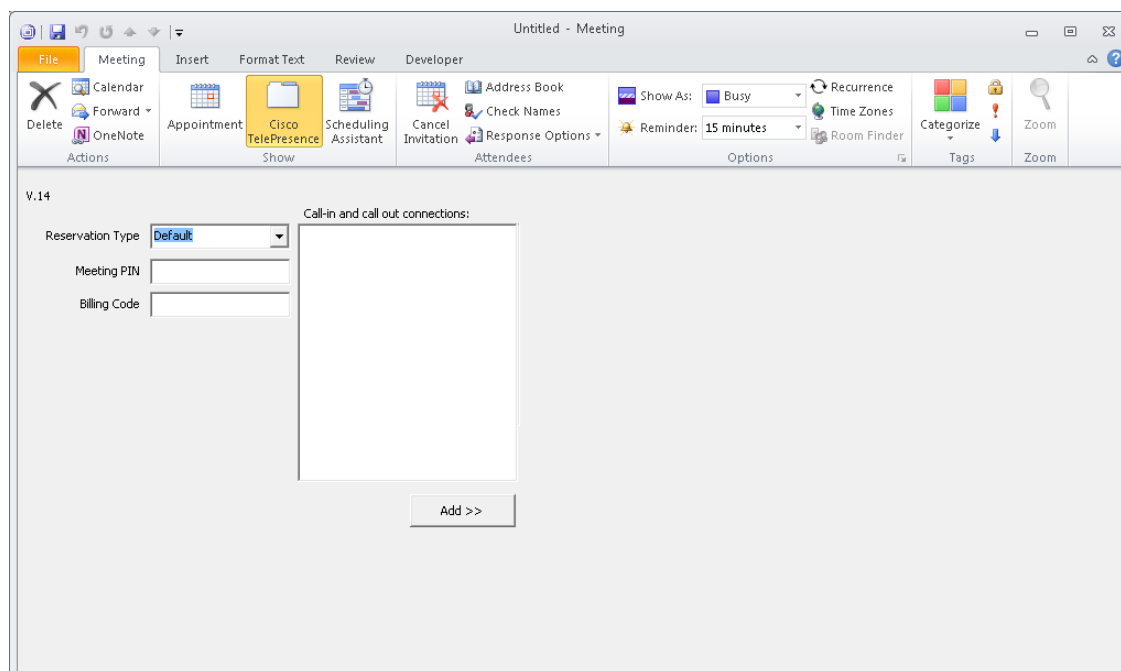
- 別の時間で再スケジュールするか、会議室の空き状況に問題がある場合は別の会議室を使用して再スケジュールする。
- 再スケジュールでは問題が解決せず、サポートが必要な場合は管理者に連絡する。

報告された問題が解決するまで、テレプレゼンス会議は開始できません。また、テレプレゼンス エンドポイントのカレンダーにも送信されません。会議は [Defective] として Cisco TMS に保存されます。

Cisco TelePresence フォームの使用

管理者が Cisco TelePresence カスタム フォームのユーザによる使用を可能にすると、すべての会議要求にボタンまたはタブとして表示されます。

Cisco TelePresence フォームの使用



会議の主催者はこのフォームを使用して会議の追加設定を指定し、デフォルト設定を上書きして外部のビデオまたは音声参加者を追加できます。

新規または既存の会議にフォームを使用するには、次の手順を実行します。

1. カレンダー エントリの [Cisco TelePresence] タブを選択し、必要に応じて変更を加えます。
値を [Default] のままにすると、管理者が Cisco TMS で定義したデフォルト設定が使用されます。
2. 設定の変更を完了した後に既存の会議に対する変更を送信する場合は [Send Update] ボタンを使用します。
[Save and Close] を使用すると自分のカレンダーのみが変更されるため、クリックしないでください。

会議の招待状を受け取る際の制限事項

シスコのフォームを使用して会議が作成された場合は、Outlook のセキュリティにより、会議の招待状をプレビューできません。

Outlook の閲覧ウィンドウを使用するときは、招待状を開いて会議の詳細を表示する必要があります。

Cisco TelePresence フォームの設定

設定とボタン	説明
Reservation Type	<p>オプション:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [Automatic Call Launch]: 会議は自動的にルーティングされ、開始されます。 ■ [One Button to Push]: 会議が開始されると、サポートされているエンドポイントで画面上のボタンが使用可能になります。 ■ [Manual Connect]: ルーティングが設定され、ビデオ会議マスタが会議を開始する必要があります。 ■ [No Connect]: ルーティングが設定され、すべての参加者は会議に接続する必要があります。 ■ [Reservation Only]: 会議室のみが予約されます。ルーティングは行われません。 <p>通常、デフォルトの予約タイプには会議のルーティングが含まれます。リソースのルーティングを使用できない場合、Cisco TMSXE は代わりに [Reservation Only] として会議を予約しようとします。</p>
Meeting PIN	ここに数字のパスワードを指定すると、会議のダイヤルイン参加者が会議に参加する際にこのパスワードの入力が必要になります(使用するマルチポイントコントロール ユニット(MCU)でサポートされている場合)。判断に迷う場合は、管理者に問い合わせてください。
Billing Code	Cisco TMS で会議とともに保存される会議の課金コードを指定できます(この設定がオプションまたは必須のいずれであるかは、管理者によって定義された Cisco TMS の設定によって異なります)。
Add >>	このボタンは、Exchange のリストに含まれていないビデオまたは音声参加者を会議に追加する場合に使用します。「 コールインおよびコールアウト参加者の追加 」(5 ページ)を参照してください。

コールインおよびコールアウト参加者の追加

Cisco TelePresence フォームを使用すると、Exchange および Cisco TMS でリソースとして予約できないビデオまたは音声参加者を会議に追加できます。

- コールアウト参加者: 参加者の連絡先情報を入力すると、Cisco TMS はスケジュールされた時間にその参加者を会議に自動的に接続します。
- コールイン参加者: Cisco TMS は会議で参加者をホストするために必要なリソースを予約し、参加者に転送する正確なダイヤルイン情報を提供します。

コールインまたはコールアウト参加者を会議に追加するには、次の手順を実行します。

1. [Cisco TelePresence] タブを開きます。
2. [Add >>] をクリックすると、参加者ごとに値を定義できるパネルが表示されます。
3. [Call-in] または [Call-out] タブをクリックします。
4. 追加する参加者のタイプに適した値を入力して [Add] をクリックします。[External Participants] リストに参加者が表示されます。
5. 会議に追加する参加者ごとに繰り返します。

参加者を削除するには、リストから目的の参加者を選択して [Delete Selection] をクリックします。

WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用した予約

WebEx Productivity Tools with TelePresence は、会議の招待状に特殊なパネルを追加することで Microsoft Outlook と統合します。

WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用した予約

このパネルと詳細設定を使用して、テレプレゼンスと WebEx、テレプレゼンスのみ、および WebEx のみを含む会議を予約できます。WebEx Productivity Tools with TelePresence でテレプレゼンス リソースを予約するには、Outlook をオンライン モードにする必要があることに注意してください。

生産性向上ツールがすでにインストールされている場合は、Outlook のツールバーに特別なボタンが表示されます。インストールされていない場合は、自身でインストールを実行する必要があります。この情報は管理者に要求してください。

注意: 次の場合は、WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用しないでください。Cisco TMSXE を使用して、代理承認が必要な会議室を予約する。

基本設定の使用

[Productivity Tools] パネルでは、次のテレプレゼンス オプションを利用できます。

- 会議用にスケジュールするテレプレゼンス会議室を追加する。
- コールイン参加者の数を設定する(スケジュール済みの会議室に加えて、会議に接続するこの参加者数または会議室数に合わせてリソースが予約されます)。
- 詳細設定に移動する。

次の WebEx オプションを使用できます。

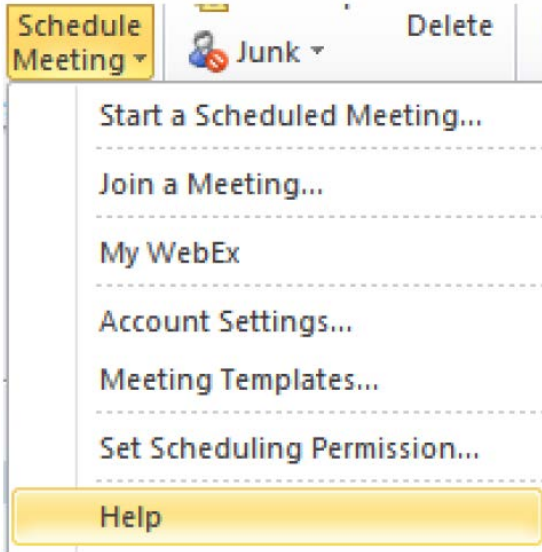
- 会議に WebEx 会議を追加する。
- WebEx 会議のパスワード(WebEx パスワードではない)を追加し、パスワードを招待メールに含めるかどうかを選択する。
- 会議の代替 WebEx ホストを設定する。
- 詳細設定に移動する。

詳細設定の使用

テレプレゼンスの詳細設定では、会議の暗証番号を指定したり、コールアウト参加者や会議の課金コードを追加したりすることができます。詳細設定の各フィールドの詳細については、WebEx Productivity Tools with TelePresence のヘルプを参照してください。

ヘルプにアクセスするには、[Schedule Meeting] ドロップダウン ボタンをクリックします。

WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用した予約



WebEx Productivity Tools with TelePresence を使用した予約

シスコの法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハード コピーおよびソフト コピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices/ [英語]) をご覧ください。

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコの商標または登録商標

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

シスコの商標または登録商標